

様式 2

鹿島学術振興財団 2016 年度 外国人研究者招へい援助申請書  
(短期用)

2016 年 月 日

注: この招へいは 2017 年 4 月以降  
に行われるものである。公益財団法人 鹿島学術振興財団  
理事長 鹿島 昭一 殿申請者氏名  
(ローマ字)鹿島 太郎 ⑩  
Taro KAJIMA所属機関の名称は、大学院の研究  
科、研究所まで記載のこと。

写 真

※画像データ可

所属機関・職名  
(学部・学科まで記入)

〇〇大学大学院△△研究科 教授

所属機関所在地

(〒 - ) (電話 )  
(E-mail )

自宅住所

(〒 - ) (電話 )  
(E-mail )

下記の者を鹿島学術振興財団外国人招へい研究者に採用されたいので、下記のとおり申請します。

記

1. 外国人研究者氏名・所属機関・職名

Paul Smith △△大学□□学部 教授

2. 研究課題名 ※適宜記載してください。  
(英語)

3. 申請者が行っている研究との関係等

※適宜記載してください。

注 申請者は、外国人招へい研究者の滞在中の責任者となる上級研究者(教授)とする。

4. 外国人招へい研究者の招へいを希望する理由

※適宜記載してください。

5. 外国人招へい研究者に期待する役割（講義研究指導、研究協力等なるべく具体的に）

※適宜記載してください。

6. 研究を主として行う研究機関（名称、所在地）

〇〇大学大学院△△研究科 東京都〇〇…

7. 外国人招へい研究者の来日中の行動日程、訪問先等の概要

20〇〇年 〇月 来日 〇〇大学において意見交換

20〇〇年 〇月 ～ 〇月 〇〇大学において共同研究

8. 外国人研究者の招へいを希望する時期

2017年 5月 1日 から 2017年 6月 29日 まで 60日間

9. 外国人招へい研究者のための宿泊、生活上の便宜供与及び滞在中の事故等についての担当処理機関又は責任者

〇〇大学大学院△△研究科 教授 鹿島 太郎

### 承 諾 書

上記の者が鹿島学術振興財団外国人招へい研究者に採用された場合、  
当機関に受け入れることを承諾します。

2016年 〇月 〇日

所属機関長職名・氏名（職印） 〇〇大学大学院〇〇研究科長 〇〇〇〇

職 印

※職印は必ず押印のこと

注 機関長は、指定した大学の学長、大学院研究科長、学部長、研究所長のいずれかとする。

**外国人研究者 2016 年度 外国人研究者招へい援助候補者調書  
(短期用)**

記入日：2016 年 ○月 ○日

氏 名	Paul Smith (ポール スミス) ※読みをカタカナで書いてください。	性別	男 女	写 真 ※画像データ可
生年月日	19○○年○月○日	国籍	○○国	
現住所				
現職 (榮譽的地位を含む)	△△大学□□学部 教授			
最終学歴	△△大学□□学部	学位	工学博士	取得年 19○○年
現在の専攻	建築学	受賞	○○賞 (19○○年)	
連絡先				
主な職歴  19○○年○月 △△大学研究員  … (適宜記載してください)  20○○年○月 △△大学□□学部 教授 現在に至る				
我が国の研究者で特に密接な関係のある者の職・氏名とその関係  ◎◎大学◎◎学部 ◎◎教授 (共同研究者)				
来日に関する予備交渉の有無とその経過  ※適宜記載してください。				

研究業績（代表的な著書、論文及びその発表誌、発表年月を記入すること。10編以内。）

※適宜記載してください。

渡航費滞在費等の必要状況

渡航費（往復） 200,000 円

滞在費 17,000 円/日 ×  $\frac{\text{予定日数}}{60 \text{ (日)}} = 1,020,000 \text{ 円}$

国内旅費（予定） 100,000 円

合 計 1,320,000 円

同伴者の有無（該当する方にチェックすること。同伴する場合は同伴者の氏名、続柄を明記すること。）

有  1. Mary Smith（配偶者） 2. 3.

無

その他参考となる事項（過去に来日したことの有無、使用言語等）

来日歴

20〇〇年 〇〇学会参加

20〇〇年～20〇〇年 ◎◎大学に研究員として在籍

使用言語 英語・日本語